



木曽川下流自然観察会

<http://owari.eco.coocan.jp/kisogawa.html>

日時 2020年8月9日(日) 9:30~11:30(晴)

参加者 一般:4名(うち中学生2名)、

指導員:3名

テーマ 「林の中で虫を探そう！」

この日のテーマは虫です。ここ2、3年で一宮辺りでもミンミンゼミの鳴き声が聞かれるようになったということですが、公園に着いた9時頃、確かに駐車場でミンミンゼミの鳴き声が流れていました。ただ、観察会が始まってからは気を付けていましたが、確認できませんでした。

猛暑なので、木陰を通るように回りました。まずはコナラの林で虫探しです。林に入るとタテハチョウの仲間が何頭も飛んでおり、地上近くで数頭のサトキマダラヒカゲが樹液に集まっています。クワガタムシなど樹液に来る甲虫がいないか探しましたが、ここでは見つかりませんでした。代わりに外来種で生息域を広げているキマダラカメムシの幼体の姿がありました。

大野極楽寺公園の北側の散策路を歩いている時、シカラシの木からコクワガタの♀が落ちてきました。他に何かいないかを見上げたら、カブトムシのみと♀を見つけることができました。

水路や池の近くではシオカラトンボやオオシオカラトンボは普通に見られましたが、コシアキトンボは1頭だけで、昨年まで見られたショウジョウトンボやチョウトンボがまだ出現していないことが気になります。

野鳥園の南東の一画ではウバユリ 20 数株の花が見頃になっていました。花はいかにもユリといった感じですが、葉を見ると単子葉植物のユリ科らしからぬ形状をしています。葉は枯れかかっていたのですが、花の頃に葉がなくなるのを、高齢女性の歯がなくなることにかけて、「姥」の名が付けられたということです。ウバユリは犬山方面では見たことがあります(「グリーンデータブックあいち」には尾鷲郡で瀬戸、春日井、犬山に記録)が、ここでは観察会を始めて6年目にして初めてお目にかかりました。急に出現したとも思われませんので、これまで気づかなかっただけなのでしょう。こんな開けた公園の中でも、昨年はカワラナデシコとカワラケツメイ、一昨年はツリガネニンジンを見つけるなど、毎年何らかの新しい発見があるものです。(報告:齋竹)

<その他観察できたもの>

虫:ニイニイゼミ(声)、クマゼミ(声)、アブラゼミ(声)、ツクツクボウシ(声)、ウスバキトンボ、ギンヤンマ、キタキチョウ、ツマグロヒョウモン、クロアゲハ、アオスジアゲハ、マメコガネ、コフキソウムシ、ショウリョウバッタ、ハラヒロカマキリ(幼)、タイワンタケクマバチ、クマバチ 鳥:ツバメ、シジュウカラ、ヒヨドリ、アオサギ、ハシボソガラス、コゲラ(声)、ウグイス(声)、メジロ(声)、コジュケイ(声) 花:オオフタバムグラ、メリケンムグラ、アメリカネナシカズラ、コマツヨイグサ、メマツヨイグサ、フタナ、ヒメジョオン、ヘクソカズラ、アレチハナガサ、ヒメクマツヅラ、カワラナデシコ、ツリガネニンジン、ヤブラン、ツユクサ、クサギ、ヤブミョウガ



(檜の木の枝にいるカブトムシを観察中)



樹液に集うサトキマダラヒカゲ



近年増加中のキマダラカメムシ



水辺に多いオオシオカラトンボ



ここでは初登場のウバユリ